



新春座談会 支え合える地域共生社会の構築に向けて

トピックス

- 3 市長・市議会議長挨拶
- 4～6 **新春座談会** 支え合える地域共生社会の構築に向けて
- 7 くろいし応援商品券を販売
- 8 会計年度任用職員を募集
- 9 高額療養費制度をご存じですか
- 10 市職員の給与・定員管理等を公表
- 11 あなたの健康サポートし隊！！
- 12～13 ぼくの・わたしの将来の夢
- 14 暮らしの案内
- 24 新春年賀状



「広報くろいし」に掲載しているイベントや講習会などが新型コロナウイルス感染症予防のため中止・変更になる場合がありますので、主催者等にいま一度ご確認ください。参加の際は、マスクの着用など感染症対策にご理解とご協力をお願いします。

今月の表紙



黒石高等学校書道部の皆さんが、目標に向かって高く跳躍できる年になるようにと願いを込めて、今年の干支「卯」に絡めたメッセージを書いてくれました。

市のデータ

人口の動き



人口	31,604人	(-31)
男性	14,796人	(-16)
女性	16,808人	(-15)
世帯数	13,928世帯	(6)

住民基本台帳調べ 11月末現在

燃やせるゴミ速報値



この調子でゴミを減らしましょう！

[問合せ] 市民環境課環境衛生係(内線123・124)

市税の納付をお忘れなく

1月は国民健康保険税第7期の納付月です。納期限は1月31日(火)ですので、忘れずに納付してください。

[問合せ] 収納課納税管理係(内線143)

アンケートにご協力ください

(一社) Clan PEONY 津軽では、中南・西北津軽地域住民観光意識調査を実施します。回答した人の中から、毎月抽選で10名様に津軽の特産品詰め合わせをプレゼント。アンケート期間は令和5年1月末までです。

[問合せ] (一社) Clan PEONY 津軽
☎88-6090



マイナンバーカードの申請期限が延長

マイナポイント第2弾の対象になるマイナンバーカードの申請期限が、**令和4年12月末から令和5年2月末まで**延長になります。カード申請から交付まで1か月程度要するため、余裕を持って申請をお願いします。



特定健診の追加・変更のお知らせ

本紙12月号9ページに掲載の「特定健診が日曜日にも受診できます」について追加と変更がありましたのでお知らせします。

追加 2月5日(日) 兼平医院
変更 2月19日(日) ちとせクリニック

郷土愛と支え合いの心を 大切にすまちづくり

黒石市長
高樋 憲

新年おめでとうございませ
す。令和5年が市民の皆様
にとって健康で良い年であ
りますことを心からお祈り
申し上げます。

昨年、ロシア軍による
ウクライナ侵攻など大きな
衝撃を受けた一年でありま
した。暗いニュースが続い
ている中で、本市におきま
しては市立図書館がオープ
ンし明るい兆しが見え始め
た一年となりました。



組んでまいります。

1つ目は、「世界で活躍で
きる人材の育成」です。ア
ート教育の場を創出するた
め「子ども美術館整備事業」
に着手し、創造力を養い感
性を磨く場所として活用し
ていきます。また、児童生
徒の英語学習における意欲
向上等につなげるため、英
検検定の補助を行うこと
もに、オーストラリアパー
チャルツァーを継続し、国
際感覚を養い高いコミュニ
ケーション能力を有するグ
ローバルな人材の育成を目
指します。

2つ目は、「支え合える地
域社会の構築」です。地域
包括ケアシステムを確立す
るため、本市の『コミュニ
ティ力Ⅱ黒石力』を活かし、
各地区協議会を中心に地域
でお互いに支え合える枠組
みの構築に取り組み、今後

訪れる少子高齢社会に備え
た持続可能な地域づくりを
進めてまいります。

3つ目は、「自立した経済
力の確立」です。黒石イン
ターチェンジを活用した
「ロジスティクスクロッシン
グ推進事業」の企業動向調
査とインフラ整備を実施し、
企業進出の促進を図り、働
く場の創出と地域経済の促
進に努めてまいります。

4つ目は、「文化の継承」
です。本市の伝統芸能であ
る「よされ」や「ねぶた」
をはじめ、各地域に受け継
がれてきた本市の貴重な財
産の保存・発展に努め、次
世代へ継承してまいります。
時代が変化しても「人と
人とのつながり」の大切さ
は失われるものではありません。「黒石力」を結集し、
支え合える地域社会の実現
に向けて全力で取り組んで
まいります。

結びに、健康診断を受け
てください。そして、元気
に笑顔で共に歩んで行くこ
とをお誓い申し上げます。年頭
のご挨拶といたします。

新たなまちづくり施策に期待

黒石市議会議員 佐々木 隆

明けましておめでとうございます。市民の皆様
には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し
上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の新規感染
者数の落ち着きに伴い行動制限が解除となり、よ
され、ねぶたをはじめとする、市内のイベント等
が3年ぶりに開催され、黒石の街が明るく活気
にあふれていました。しかしその後、全国的に感染
者数が増加に転じるなど、コロナ禍に翻弄された
一年でありました。

このような中、物価の高騰など経済状況にも多
大な影響が表れていることから、本市では「価格
高騰対策くろいし応援商品券発行事業」などの独

自施策を行い、市議会とし
ても行政と連携・協調を図
りながら、役割を果たして
いるところです。

さて、本年は市立図書館
に続き、いよいよ（仮称）
市民サービス施設の建築に
着工します。このように黒
石の街並みを形成するピースが揃うことで、新た
なまちづくりの施策が期待されています。長引く
コロナ禍の影響により厳しい情勢が続いていま
すが、黒石市は「新たなまちづくり」という明るい
目標に、希望を持って進むことができるものと思
っています。

結びに、黒石市議会一同精一杯努力してまい
りますことをお誓いするとともに、コロナ禍の一刻
も早い終息と、皆様の輝かしい一年をお祈り申
上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



新春座談会



黒石市保健協力員会会長
丸山 要子氏



黒石市長
高樋 憲



黒石市地区協議会連合会会長
大寺和美氏



長崎ふれあいサロン
中村和子氏



黒石市国民健康保険黒石病院看護局
宇野美和子氏

テーマ

支え合える地域共生社会の構築に向けて

大寺

市地区協議会連合会会長の
大寺です。地区協議会では、

内容を含めて、自己紹介をお願い
します。

合える地域共生社会を構築
していくことが重要だと考
えております。

それでは、日々の活動内

市長

明けましておめでとうござ
います。

本日は「支え合える地域
共生社会の構築に向けて」
をテーマに、医療や保健、
地区協議会などの各分野に
携わっている皆さんを交え、
地域包括ケアシステムを構
築するために、どのような
ことができるのかを話し合
いたいと思います。

今後迎える少子高齢化が
深刻化する本市において、
高齢者が要介護状態になっ
ても住み慣れた地域で自分
らしい暮らしを最期までで
きるように、地域包括ケア
システムの構築を進めてお
ります。『地域コミュニティ
力Ⅱ黒石力』を活かした地
域づくりを推進する本市に
おいて、地域が一丸となっ
て問題を共有し市民が支え
合える地域共生社会を構築
していくことが重要だと考
えております。

丸山

市保健協力員会会長の丸山
です。主な活動は、健診受
診の勧奨や申込用紙の配
布、健康教室や健康に関す

くお願いします。

宇野

黒石病院地域医療支援セン
ター看護師の宇野です。入
院患者と医師や施設との調
整、ケアマネジャー、市役
所との調整をしています。
近年、ひとり暮らしの高
齢者が増え、様々なケース
で苦慮していますが、地域
での支援にも限界を感じて
います。

そうした中で病院として
できること、地域に貢献で
きることをいろいろ模索し
ながら、今後も続けていき
たいと思いますのでよろし
くお願いします。

る研修会を行っています。
現在、コロナ禍で同会の活動を自粛していますが、新型コロナウイルスワクチン接種会場で誘導などの協力もしています。

中村 長崎ふれあいサロンの中村です。平成2年、市役所からの要請でサロンを立ち上げ、私も町内会長の勧めでサロンに参加しました。現在、私は民生委員も兼ねてサロンに参加しています。

サロンでは市の出前講座を活用しながら地域包括支援センターや町内会の方々の協力で様々なことを勉強し、メンバーと協力しながら活動しています。

地域包括ケアシステムに 対する認識は

市長 地域包括ケアシステムに対して、どのような認識を持っていますか。

中村 民生委員となり2年目が経過した頃、近所の方に認知症状が出始め、その後施設入居されました。

その際、子ども世帯が他市町村に暮らしていたので

電話で話を伺うことができましたが、民生委員として自宅を伺った時は、対等な話をし、きちっとしていた様子でしたが、実際の状況を知るためには家族や近所の方の協力が必要であると感じました。

丸山 私も民生委員を兼ねて、多くのひとり暮らし高齢者世帯の方と接しているので、関係機関につなげることができれば良いと思います。協力員として携わっています。

宇野 少子高齢化により支える力が減少し、高齢者が住み慣れた場所を過ごせるかというところの力量になってきているところでありますが、ある意味限界にきています。

そのため、医療や介護、行政が手を取り合っていくことで次々と課題解決が進んで行くと思います。ひとり暮らし高齢者の増加の一因は我々の世代にもあると思います。核家族化が進み、若者のボランティア離れが加速することで、高齢者宅の屋根の雪下ろしポ

大寺 ひどい暮らし高齢者の増加の一因は我々の世代にもあると思います。核家族化が進み、若者のボランティア離れが加速することで、高齢者宅の屋根の雪下ろしポ

市長 皆さんの地域包括ケアシステムに対する認識は、必要性が高いということが分かってきました。各分野にはそれぞれ課題があり、どのようにしていけば解決できるのかという部分を皆さんにお聞きします。

地域包括ケアシステムが 抱える課題等について

宇野 若者は、自分に時間を費やすのが第一で、それが今の若者のスタイルです。先ほど大寺さんが言っていたボランティアに誘導できないのも若者の背景なので、しようがないかもしれません。一方で、若者なりにもいろいろな刺激次第ではこちら側に誘導できるのではないかと考えます。例えば、

高校・大学を卒業後、地域に残った若者の力をうまく引き込む作戦をもう少し高齢者の問題と一緒に考えていけばいいのではないかと考えます。

中村 普段、サロンに参加する方は、以前から地区の婦人部にも参加するなど、このようなたちの土台があるからこそサロンを行える現状があります。

一方で、これまで婦人部で活躍された方も高齢となり、自分に自信が持てないなど、皆さんと話が噛み合わないと思われるのか自然と参加しなくなります。本当はそのような方々にこそ

丸山 私も地区のふれあいサロンに参加しています。ひとり暮らしの高齢者に参加してもらいたいと思っています。年々参加者が減少し、安否確認を兼ねてこちら側からご自宅に伺っています。

先日、転倒により骨折した高齢者宅を訪問した際に、救急車の要請や安否確認もできたので、いつもこちら側から出かけて行ければと思います。そのようなことを地域包括支援センターにつなげていければと思います。

大寺 後継者を作らないことにはなかなかうまくいかないと思います。現在、協議会でも若い世代を役員として迎え入れる体制を整えています。若い世代に「やらせ



市長

「体制ではなく、「任せ」体制を取ることで、若い世代のバックアップ体制を取り、支えていくことで、今後の協議会も変わってくるのではないかと思います。皆さんのご意見を聞くともな

築していきたいと考えます。そのためには、市単独で構築していくのは限界があるので、地区や保健協力員の方々の支援を受けながら、そのような環境を構築していきたいと考えております。

大寺

今後の取り組みについて

公民館を拠点とした地域包括ケアシステムの取り組みは非常に良いと思います。自由に行けるところがうまい具合に回るのであれば

一する人たちが育っていない悪循環にきている感じがします。

市長

実際に、若い世代の価値観も大分変化しています。そこをどのようにうまく伝え、彼らを引き込む方策を考えることが、地域包括ケアシステムには避けては通れない問題です。

宇野

市は現在、同システムを構築するにあたって地区協議会の施設（公民館）を核とした様々な取り組みを行うことを考えています。そこへ市職員を派遣し、まずは健康管理の部分。その辺を充実させる仕組みを構築

していきたく思います。このためには、市単独で構築していくのは限界があるので、地区や保健協力員の方々の支援を受けながら、そのような環境を構築していきたく思います。

丸山

保健協力員としても公民館へ出向き、高齢者の相談やサポートができると思います。に病気になっていく方も引きこもらずに公民館に行くことで予防にもなります。また、オンライン診療や訪問診療を行うことで医師の負担が軽減されるのではないかと思うので、実現すれば本当に良いことだと思います。

中村

長崎サロンの場合、お互い乗り合いで公民館まで出かけるとは思いますが、80歳を超えた高齢者はおっくうになる方もいるのではない



市長

でしょうか。

地域包括ケアシステムが構築された場合、地区の住民を公民館に移動させる仕組みを作らなければいけないが、移動手段があれば公民館を核とした同システムの構築は可能となります。

中村

それが実現すると、東地区の他の町内の方々が集まり交流ができるし、それは非常に良い仕組みだと思います。

市長

皆さんのご意見を聞いて、地域包括ケアシステムの理想が見えてきました。同システムの構築を実現するために行政サイドの課題もたくさんあります。我々行政もこれまでの話を整理したうえで、同システムの取り組み強化に努めていきたいと思えます。

丸山

化してほしいです。

黒石を元気にするために健康率の向上を目指していきたいです。

中村

ひとりでも多くの地域の高齢者にサロンに参加してもらい、市の事業や自分たちがこれまでに行ってきた活動、これからやりたいことなどを伝えていきたいですし、また、外部にも目を向け、他のサロンとの交流を持つなど様々な学んでいきたいです。

市長

本日の座談会で、様々な課題が見えてきましたが、その課題一つひとつを解決していくことが重要です。

私は、地域包括ケアシステムの構築が実現すれば、黒石は日本で一番素晴らしい地域になると思っています。これがきっかけで少子化対策につながっていくと思います。今後も皆さんには様々な機会でご意見をお聞きしながら、実現に向けた取り組みを推進してまいります。

大寺

市に対する要望等について

市全体で若い世代と高齢者との上下関係のない黒石市を目指してほしいです。

宇野

健康維持の観点から病院と市役所との連携をさらに強

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

KUROISHI OVEN TICKET 2022

くろいし応援商品券

くろいし応援商品券を販売

市は、物価高騰の影響を受けている生活者の支援と地域経済の活性化を目的に『価格高騰対策くろいし応援商品券発行事業』を実施しています。

詳しくは、市ホームページをごらんになるかお問い合わせください。

商品券の概要

▼**購入対象者** 9月30日時点で本市の住民基本台帳に記載されている世帯の代表者

▼**販売期間** 令和5年1月31日（火）まで

▼**利用期間** 令和5年2月28日（火）まで

▼**販売価格** 10,000円（1世帯につき1セットまで）

◎商品券は、1セット20,000円（全店共通券1,000円×10枚、地元応援券1,000円×10枚）です。

商品券の使用法等

- ▼券種：全店共通券（取扱店として登録された全ての店舗で使用が可能）
地元応援券（黒石市内に本店がある事業者の取扱店で使用が可能）
- ▼参加店舗：最新の参加登録店舗の情報は、市ホームページをごらんください。



▼**販売場所** 市内各郵便局（黒石、温湯、陸奥六郷、浅瀬石、黒石浜町、中郷、黒石山形町）、ホテル逢春（黒石市横町15-4）

◎販売場所が追加となった場合は、市ホームページでお知らせします。

▼**販売時間** 黒石郵便局午前9時～午後7時（平日）、その他の郵便局午前9時～午後5時（平日）、ホテル逢春午前11時～午後7時（平日・土日祝・年末年始）

▼**持参物** ①くろいし応援商品券購入引換券②購入される人の本人確認ができる書類（マイナンバーカード、免許証、健康保険証、学生証等の身分証明書、公共料金等の請求書等）

臨時販売所の開設

▼**販売場所** 市産業会館1階特設会場

▼**販売日時** 令和5年1月7日（土）、8日（日）午前10時～午後3時

【問合せ】企画課企画調整係（内線236・239）

有 料 広 告

会計年度任用職員を募集

市は、令和5年度会計年度任用職員の登録者を、次のとおり募集します。

職種や報酬など詳しくは、市ホームページをごらんになるか、お問い合わせください。

▼勤務時間 午前8時15分～午後5時のうち6時間または7時間（1時間の休憩時間あり）

※職種によつて時間が異なります。

▼任用期間 4月から12か月（随時短期間の任用をする場合あり）

▼業務内容 事務補助や窓口補助、技能労務など

▼申込方法 総務課職員係で配布する登録申込書（市ホームページからダウンロード可）に自筆で記入し、顔

写真を貼付のうえ登録希望者本人が持参

※申込時に面接を行います。

※4月からの任用希望者は、2月3日（金）までに提出してください。

障がいのある人も登録できます

市は、会計年度任用職員として働きたい障がいのある人の登録を受け付けます。詳しくは、お問い合わせください。

「問合せ」総務課職員係（内線216・217）

20歳になったら国民年金

国民年金制度は、高齢者や病气・事故で障害が残った人、家族の働き手が亡くなった人などを、働いている世代で支えようと考えられた仕組みです。

20～60歳の人は、国民年金に加入することが義務づけられており、また、国が運営するため、年金の給付は生涯にわたって保障され

ます。

年金の種類

国民年金には、老齢基礎年金の他に、障害基礎年金、遺族基礎年金があります。

▼障害基礎年金：病气や事故で障害が残ったときに受け取れる年金

▼遺族基礎年金：加入者が死亡した場合、その加入者

により生計を維持されていた遺族が受け取れる年金

各種制度の利用を

▼学生納付特例制度：学生本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。

▼納付猶予制度：学生でない50歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に保険料の納付が猶予されます。

「問合せ」国保年金課国民年金係（内線120・122）

第4回市議会定例会 補正予算などを可決

令和4年第4回市議会定例会は、11月28日に開会し、会期を決定した後、高樋市長が提案理由を説明。引き

続き、市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例など議案8件を先議し、いずれも原案のとおり可決しました。

12月7・8日には、市政に対する一般質問が行われ、9議員が登壇。市政に対する理事者の考えをいただいたのに対し、市長や部長らが答弁しました。

12日の本会議では、追加議案を含む市長提出の報告1件・議案21件を審議し、いずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。主な議案は次のとおり。

一般会計補正予算

◎4年度一般会計補正予算（第7号）：歳入歳出それぞれ4億7504万5千円を追加し、予算の総額を19

1億9446万4千円に。

◎同（第8号）：県の特別職の給与改定及び県人事委員会の勧告に準じ、勤勉手当、給料等の人件費所要額を歳出予算の款項目内で補正。

◎同（第9号）：歳入歳出それぞれ2901万円を減額し、予算の総額を191億6545万4千円に。

人事案件

市教育委員会委員に後藤耕谷氏（東町・68歳）を任命することに同意しました。固定資産評価審査委員会

委員に工藤章子氏（ぐみの木1・60歳）を選任することに同意しました。

条例制定

▼市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

指定管理者の指定

市姥懷靈園火葬場、市姥懷靈園墓地の指定管理者に太平ビルサービス(株)を指定。

高額療養費制度をご存じですか

市国民健康保険には、医療機関や薬局の窓口で支払う1か月分（1日から末日まで）の医療費が自己負担限度額を超えた場合、その超えた額を支給する高額療養費制度があります。

限度額適用認定証

医療機関等の窓口で「限度額適用認定証」や「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示することで、医療機関等への支払いを自己負担限度額までに抑えることができます。

同認定証の交付には申請が必要です。

世帯合算

1つの医療機関の窓口負担では高額療養費の支給対象とならなくても、複数の受診や同世帯の人が受診し

たときなど、医療機関等の窓口で支払った自己負担額を1か月単位で合算できる場合があります。

支給申請

高額療養費の支給には、申請が必要です。

申請の際は、医療機関等の領収書の原本、世帯主名義の預貯金通帳を持参のうえ、国保年金課で手続きをしてください。

【問合せ】国保年金課国保給付係（内線118・119）

市・県民税の申告相談を実施

市は、令和5年度市・県民税の申告相談を、黒石公民館多目的ホール等で実施します。

受け付けします。

【問合せ】税務課住民税係（内線635～637）

黒石税務署で申告会場を開設

黒石税務署は、確定申告書作成会場を次のとおり開設します。会場への入場には、整理券が必要です。整理券は、会場で当日配付する他、LINEでのオンライン事前発行があります。

自書申告を推奨

会場の混雑を避けるため、ご自宅での自書申告書の作成をご検討ください。

自書申告書は、本紙と一緒に配布した申告書や同課窓口に備え付けの申告書をご使用ください。

※申告書は、市ホームページからダウンロードできます。

※自書申告書は、郵送でも

▼申請期間 2月16日(木)～3月15日(水) (土・日曜日、祝日を除く) 午前9時～午後5時(受け付けは午後4時まで)

▼申告会場 黒石税務署2階大会議室

※整理券の配付状況に応じて、後日の来場をお願いします。

【問合せ】黒石税務署 ☎52-

4111 (1月13日(金)～3月15日(水)は自動音声案内「0」を、それ以外

の期間は「1」を選択)

4団体にコミュニティ助成が決定

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化を図るため、宝くじの受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を行っています。

今年度は、西部地区連絡協議会、北地区振興対策協議会、上十川地区振興協議会、浅瀬石地区振興協議会にそれぞれ250万円の事業助成が決定しました。

■4地区の整備例



【問合せ】企画課市民参画交流係（内線238）

市 職 員 の 給 与 ・ 定 員 管 理 等 を 公 表

市は、市職員の給与・定員管理等に関する情報を、次のとおり公表します。今号では、採用等の状況や職員数など人事行政の運営に関する情報を掲載します。

■職員数の推移

(各年4月1日現在、単位:人)

25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	2年	3年	4年
514	524	522	529	526	523	524	512	519	522

■年齢別職員構成の状況

(各年4月1日現在)

年齢区分	令和3年		令和4年	
	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)
20歳未満	6	1.2	7	1.3
20歳～23歳	24	4.6	24	4.6
24歳～27歳	37	7.1	37	7.1
28歳～31歳	69	13.3	62	11.9
32歳～35歳	51	9.8	58	11.1
36歳～39歳	35	6.7	41	7.8
40歳～43歳	63	12.1	63	12.1
44歳～47歳	69	13.3	64	12.3
48歳～51歳	67	12.9	62	11.9
52歳～56歳	59	11.4	67	12.8
56歳～59歳	34	6.6	32	6.1
60歳以上	5	1.0	5	1.0
合計	519	100.0	522	100.0

■職員採用候補者試験の実施状況

(令和3年度)

試験職種	受験者数(人)	第1次	第2次	第3次	倍率(倍)		
		試験合格者数(人)	試験合格者数(人)	試験合格者数(人)			
市役所	一般行政(氷河期・春)	11	1	1	1	11.0	
	一般行政(氷河期・秋)	8	4	3	3	2.7	
	助産師(氷河期)	0	—	—	—	—	
	一般行政(上級)	142	28	8	4	35.5	
	土木	5	3	0	—	—	
	建築	0	—	—	—	—	
	保健師	5	4	4	2	2.5	
	一般行政(初級)	31	14	9	5	6.2	
	土木(初級)	2	2	1	0	—	
	建築(初級)	1	1	1	1	1.0	
	黒石病院	5月 看護師	7	4	3	—	2.3
		6月 臨床検査技師	1	1	—	—	1.0
理学療法士		2	2	—	—	1.0	
看護師		6	6	—	—	1.0	
10月 看護師		3	2	—	—	1.5	
臨床検査技師	0	—	—	—	—		

■育児休業の取得状況

(平成3年度、単位:人)

育児休業承認期間							取得者数
3月以下	3月超6月以下	6月超9月以下	9月超1年以下	1年超2年以下	2年超3年以下	部分休業	
2	0	0	18	6	0	0	26

■分限処分の状況

(平成3年度、単位:人)

処分の種類	降任	免職	休職	降給	合計
勤務実績がよくない場合	0	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	12	0	12
必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
定数の改廃、予算の減少により過員を生じた場合	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

[問合せ] 総務課職員係 (内線216・217)

有 料 広 告

あなたの健康サポートチーム!!

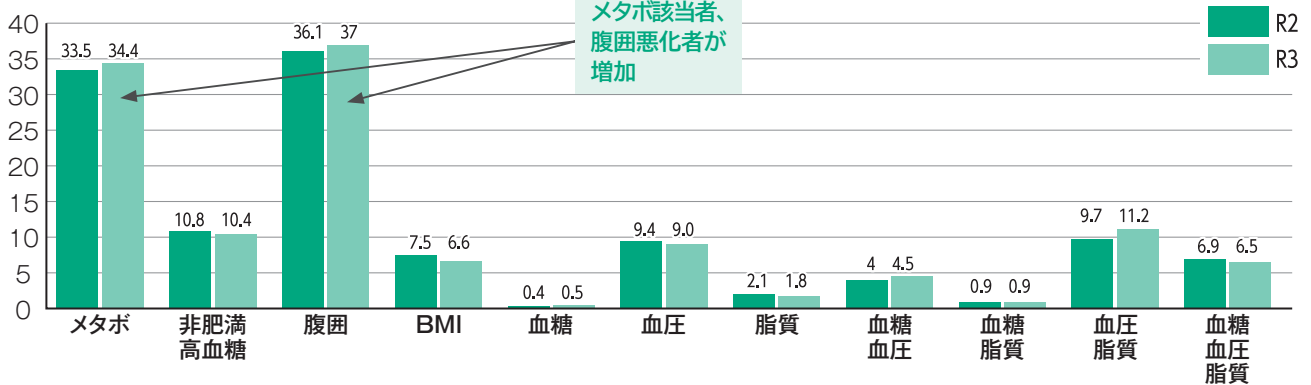


～健康に関心 身体に検診 心に安心 元気な黒石～

本市国保の健診結果・医療費からみた! 特定健診のススメ

特定健診の異常項目を見ると、特に腹囲やメタボリックシンドロームの該当者が全体的に多く、前年より増加していることがわかります。医療費の観点から見ると、生活習慣病が上位を占めており、り患すると高額な医療費がかかることになります。

■令和2年度と3年度の各異常項目の比較 (%)



■令和3年度の各諸症状の総医療費 (年額)

総医療費の高い順	総医療費	レセプト1件当たりの平均医療費 (円)	
		外来	入院
1位 糖尿病	1億8,081万	3万2千	38万7千
2位 高血圧症	9,865万	1万2千	38万3千
3位 慢性腎臓病	9,750万	39万9千	79万1千
4位 肺がん	8,882万	51万	102万6千



健診未受診者の一人当たりの医療費は健診受診者の約5倍というデータもあります。30歳からは若年層の健診、40歳からは特定健診を受けましょう。また、市は健診未受診者にはハガキを送付していますので詳しくは、そちらをごらんください。

【問合せ】国保年金課国保給付係 (内線118・119)

ポイントをためて
健康と特典を手に入れよう!

くろいし健康マイレージ



市は、健(検)診の受診率向上と市民一人ひとりに健康への関心を持ってもらうことを目的に、「くろいし健康マイレージ事業」を実施しています。この事業では、健(検)診の受診や市の健康づくり事業などへの参加でたまったポイントに応じて、特典を受けることができます。



☆1月のくろいし健康マイレージ対象事業☆

事業名	場所	実施日	ポイント
総合健診	スポカルイン黒石	1月21日(土)	特定健診10ポイント がん検診10ポイント ◎両方受診でさらに10ポイント
献血	詳しくは19ページをごらんください		5ポイント

ポイント付与・協賛店サービス利用期間は1月31日(火)までです。

☆健康都市宣言商品券の利用をお忘れなく! ☆

市は、くろいし健康マイレージ事業の当選者に市内の健康都市宣言協賛店で使用できる健康都市宣言商品券をお渡ししています。利用期間は発行から5年間ですので忘れずにご利用ください。

【問合せ】健康推進課 (内線245)

花屋を 経営したい

黒石東小学校6年
佐藤 瞳心^{みこ}さん



私の将来の夢は、自分で花屋を経営することです。なぜかという私は花が好きで、家でも育てています。なので、いろんな花をお客さんに買ってほしい、笑顔になってほしいです。ブーケにした花や鉢に植えた花を買った人が幸せになるような花屋にしたいです。だから、今から花についての勉強をして、夢のためにできることをやっていきたいです。



大工に なりたい

黒石東小学校6年
村上 詠秦^{えいしん}さん



ぼくの将来の夢は、大工になることです。なぜかという、小さいころから物作りが大好きで、自分の家を建ててくれた大工さんの姿を見て、カッコいいと思ったからです。たくさんの人の夢や思いが詰まった建物や、誰もが笑顔になれるような建物を建てられる大工になりたいです。そして、みんなの幸せのお手伝いができればいいと思います。



今年の干支は「卯」。

市内4小学校の卯年生まれの児童に、将来の夢について聞きました。

卯年生まれの市民(令和4年12月16日現在)

男…1,146人 女…1,300人 計2,446人

バスケの選手 になりたい

六郷小学校5年
伊藤 絆乃^{はんな}さん



私の将来の夢は、バスケットボール選手です。なぜかという、私はバスケットボールが好きなのでよくテレビで試合を観るのですが、シュートが決まると「わー!」「すごい!」など歓声が上がります。すると、私もみんなに応援してもらい期待してもらえる選手になりたい、誰にも、どのチームにも負けない私になりたいと思いました。



クリエイターに なりたい

六郷小学校5年
中澤 桜介^{おうすけ}さん



ぼくの将来の夢は、クリエイターになることです。なぜかという、ぼくはものをつくるのが好きなので、それをそのまま仕事にしてみたいと思ったからです。クリエイターには種類があり、候補として映像、ゲームクリエイターなどがあります。どちらもC#を使うのでクリエイターになるために勉強しようと思いました。



薬ざい師に なりたい

黒石小学校5年
須藤 優愛 さん



わたしの将来の夢は、薬ざい師になることです。なぜかという、かん者さんを早く治すために体に良い薬を作ってみんな元気に過ごしてほしいからです。薬ざい師はたくさん英語を使うので、習っている英語をたくさん覚えて薬ざい師になる夢に向けてがんばっていきたくです。子どもでものみやすく、あまり苦くないような薬を作りたいです。



アナウンサーに なりたい

黒石小学校5年
中村 蒼 さん



ぼくの将来の夢は、アナウンサーです。スポカルのキッズハローワークで、実際にアップルウェーブの体験をして、ニュースを読むタイミングは合図を見ていないとわからないし、録音したぼくの声を聞いたら、少しかんでいたので、本物のアナウンサーはすごいと思いました。ぼくは放送委員なので、毎日練習していろいろな情報をかまらずに伝えてみたいです。



ぼくの・わたしの 将来の夢

パティシエに なりたい

東英小学校5年
佐々木 彩羽 さん



わたしの将来の夢は、おかしやケーキを作るパティシエになることです。その理由は、いろいろなデザインのケーキを作ったり、いろいろな味のクッキーを作ったりできるからです。今は行事やイベントの時にケーキを作って家族みんなで食べています。将来は、自分で作ったケーキをたくさんの人にもぜひ食べてほしいです。



サッカー選手に なりたい

東英小学校5年
斎藤 瑛仁 さん



ぼくの将来の夢は、世界で活やくするサッカー選手です。1年生の時にワールドカップを観て、そのころからの夢でした。そして今年ワールドカップを観てさらに夢をかなえたいという思いが強くなりました。今、実際にサッカーをしていて、とても楽しいです。夢をかなえるためにも、毎日の食事や練習をこれからもがんばります。





内 容	日 時	場 所・問 合 せ
福 祉	月～金曜日 / 9:00～17:00	市社会福祉協議会「ふれあい相談所」☎52-9600
生 活 困 窮	月～金曜日 / 8:15～17:00	市社会福祉協議会「黒石自立相談支援窓口」☎52-9600
家庭・婦人・母子	月～金曜日 / 8:15～17:00	福祉総務課(内線518)
後 期 高 齢 者	25日(水)/19:00まで	国保年金課(内線125・131)
介 護 保 険 料	25日(水)/19:00まで	介護保険課(内線525・526)
教 育	月～金曜日 / 9:00～16:00	指導課(内線612・613)
青 少 年 問 題	月～金曜日 / 9:00～16:00	市青少年相談センター(社会教育課内)☎52-2876
下 水 道	月・水曜日 / 9:30～15:30	上下水道課(内線559)
水道料金(夜間)	16日(月)・25日(水)・31日(火) /19:30まで	上下水道課(内線552～554)
健 康	16日(月)/10:00～12:00	健康推進課(内線244～247)
こころの 健康相談		市産業会館 4階小会議室 / 健康推進課(内線246・247)へ事前予約
	小さな相談室	16日(月)/10:00～15:00 松の湯交流館 / 予約不要、当日会場へ
納 税(夜間)	5日(木)・16日(月)・25日(水) /19:00まで	収納課(内線141・142)
困 り ご と	10日(火)・23日(月) /9:00～15:00	市役所 1階相談室
法 テ ラ ス 法 律	25日(水) / 9:30～12:00	▼困りごと相談は当日、8時15分から市民環境課(内線133)で電話受付
人 権	13日(金) / 10:00～15:00	▼法テラス法律相談は法テラス青森(☎050-3383-5552)へ要事前予約
行 政	19日(木) / 10:00～12:00	
土地家屋調査士	11日(水) / 13:00～16:00	
消 費 者	火～日曜日 / 8:30～17:00	弘前市市民生活センター(弘前圏域消費生活相談窓口)☎34-3179
	月～金曜日 / 9:00～17:00	市民環境課(内線133)

休 日	当 番 医
1月1日☉	黒石あけぼの病院 ☎52-2877
1月8日☉	かきさか医院 ☎53-2255
1月15日☉	ちとせクリニック ☎53-7228
1月22日☉	健生黒石診療所 ☎53-3015
1月29日☉	黒石あけぼの病院 ☎52-2877
2月5日☉	兼平医院 ☎52-3305

休日・夜間の急病に対応します

	休 日	夜 間
診 療 日	日曜日、祝日、8月13日、 12月31日～1月3日	年中無休
診 療 時 間	午前10時～午後4時	午後7時～10時30分
診 療 科 目	内科・小児科・外科	内科・小児科

[問合せ] 弘前市急患診療所 ☎34-1131

市ではホームページやSNSを活用し、市民の皆さんへさまざまな情報を日々発信しています。



市公式
ホームページ



市役所
公式Facebook




金平成園(澤成園)
公式Facebook




企画課
Instagram

▶「黒石市」で検索、 または二次元コードからアクセスしてください


市の観光情報がたくさん! Visit Kuroishi




Instagram



Twitter



Facebook



YouTube

11月30 黒石小が全国学校体育研究優良校を受賞



黒石小学校（阿部誠校長）が県内の小学校で唯一、第61回全国学校体育研究優良校として表彰されました。

この表彰は、学校体育指導の研究や取り組みに優れた学校が選ばれるもので、黒石小学校は体育授業の充実や「スッキリタイム」と題した朝の体操など、体力づくりに効果的な取り組みが評価されました。

11月21 LED防犯灯を寄贈



東北電力ネットワーク（株）弘前電力センターの吉田暁博所長と（株）ユアテック弘前営業所の三浦博文所長らが市長室を訪れ、LED防犯灯10基と防犯灯の取付工事一式を市へ寄贈し、目録を高樋市長へ手渡しました。

高樋市長は「安全のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。」とお礼を述べました。

12月7 献上りんごを選果・箱詰め



（地独）県産業技術センターりんご研究所（初山慶道所長）は、天皇皇后両陛下や上皇ご夫妻、各宮家に献上するりんごの選果・箱詰め作業を同研究所で行いました。

作業員たちは、「ふじ」と「王林」を丁寧に磨いて梱包。初山所長は「青森県を代表してお贈りします。本県の生産者に思いをさせて食べていただけると幸いです。」と述べました。

12月6 今チヨさんの100歳をお祝い



今チヨさん（緑町4）が12月9日にめでたく100歳を迎えました。6日には、入居している特別養護老人ホーム緑青園で百歳顕彰が行われ、にぎやかにお祝いをしました。

ホームでは周囲に困っている人がいると、職員を呼び、知らせてくれる気配り上手な今さん。長生きの秘けつは「穏やかに過ごすこと。」と語っていました。

お知らせ

水道管の修理は市指定業者へ

冬期間、水道管が凍結・破裂等により修理が必要な場合は、市指定業者に依頼してください。正月三日と1月の土・日曜日、祝日の当番業者は次のとおりです。

■1月の当番業者

期日	当番業者	電話番号
1・9・28日	管電工業(株)	53-1155
2・14・29日	旭冷機工業(株)	52-6577
3・15日	(有)佐々木設備社	52-3711
7・21日	(有)内山設備	52-4839
8・22日	(有)ハウスシステムサンキ	52-6323

※受付時間は午前8時15分～午後5時

☎上下水道課施設係（内線557・558）

就学援助制度を実施

市教育委員会は、経済的

理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、学校生活に必要な費用の一部を援助する「就学援助制度」を、次のとおり実施しています。

対▽生活保護受給▽市・県民税非課税か減免▽国民年金保険料全額免除▽児童扶養手当受給ーなど

申就学援助申請書などを各学校へ提出

☎学校教育課学務係（内線605・606）

飼い主としての責任を持ちましょう

市は、令和4年4月に市環境美化条例を施行し、飼い主に対し排せつ物等の放置をしてはいけない行為として定めています。

冬期はふんを雪で埋めてその場を立ち去るといった行為が発生しています。

ペットがふんをした場合、飼い主は処理する責任があります。ペット

トの散歩の際には、ふん処理用のスコップ



やビニール袋などを持ち歩き、必ず持ち帰るようにしてください。飼い主としてのマナーを守り、責任を持って処理しましょう。

☎市民環境課環境衛生係（内線123・124）

資源物のリサイクルにご協力

市は24時間利用可能な市内13か所の資源物拠点施設を設置しています。回収品目は古紙やペットボトル、缶びん、その他プラスチック（容器包装プラスチック）です。

また古紙リサイクル業者によるエコボックスも浅瀬石に設置され、古紙（段ボール、新聞、雑誌等）の無料回収を行います。

リサイクルへの取り組みにご協力をお願いします。

☎市民環境課環境衛生係（内線123・124）

交通災害共済

市は、「交通災害共済」の加入票を1月27日に配布し、2月1日から受け付けを開始

します。主な内容は次のとおりです。

期共済期間 4月1日～令和6年3月31日（4月1日以降に加入した場合は、加入した日から）

内▽弔慰金 100万円▽見舞金 3～50万円

年會費 350円

☎市民環境課交通生活係（内線132）

市起業移住支援補助金

市は、地域産業の活性化と移住の促進を目的に「黒石市起業移住支援補助金」を創設し、市内で新たに起業する人の事業に係る経費の一部を予算の範囲内で補助します。

▽補助金額：補助対象経費の2分の1（上限30万円）

▽移住者加算：2人以上の世帯20万円、単身世帯10万円

▽対象経費：広告宣伝費、備品購入費など

申請要件など詳しくは、お問い合わせください。

☎商工課商工振興係（内線641）

有料広告

インボイス制度説明会を開催

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。黒石税務署等は、「インボイス制度説明会」を次のとおり開催します。

説明会ではインボイス制度の概要を説明する他、説明会終了後に登録申請相談会も実施します。

開催日	開催時間
1月20日(金)	説明会 13:30~14:30
2月3日(金)	
2月17日(金)	相談会 14:30~15:00
3月2日(木)	
3月24日(金)	

場 ヒロコ4階弘前市民文化交流館ホール

定 60人

申 開催日の前日までに(公社)弘前法人会(☎36-8274)に申し込み

問 黒石税務署 ☎52-9488

指名競争入札参加資格 審査申請の追加受付

津軽広域水道企業団は、「指名競争入札参加資格審査申請の追加受付」を次のとおり実施します。

詳しくは、同企業団ホームページをごらんください。

期 1年間(9月1日~令和6年8月31日)

内 ▽建設工事▽測量・建設コンサルタント等▽業務委託▽製造の請負・物件の購入・その他の契約

申 1月10日(火)~2月28日(火)に提出書類を持

参または郵送(必着)

HP <http://www.tusui.jp>

問 〒036-0342 黒石

市大字石名坂字姥懐2番地、同企業団津軽事業部
総務課 ☎52-6033

眠らせている財産(空き家・空き地)はありませんか

弘前圏域空き家・空き地バンク協議会では、弘前圏域空き家・空き地バンクを運用しています。

弘前圏域空き家・空き地バンクとは、圏域内にある空き家や空き地を売りたい・空き家を貸したいとい

う所有者と、買いたい・借りたいという移住・定住希望者や利活用希望者との橋渡しを行う制度です。

空き家は、売却せずに賃貸として登録することもできますので、物件をお持ちの人は、この機会に登録しませんか。

詳しくは、下記の二次元コードをごらんになるかお問い合わせください。



問 企画課企画調整係(内線236)

差押財産の公表

県は、不動産や動産などの差押財産をインターネットオークションで売却するインターネット公売を実施しています。

詳しくは、県ホームページをごらんください。

HP https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/zeimu/008_koubaindex.html

問 中地域県民局県税部納税管理課 ☎32-4341

制服おゆずり おわたし事業

市社会福祉協議会は、市内と近郊の中学校および高校の制服をおゆずりいただき、必要とする人へおわたしするお手伝いを始めました。

おゆずりいただく制服は、現在学校で使用されているものに限りませんが皆さんのご協力をお願いします。

時 平日午前8時30分~午後5時

場 同協議会事務局内

問 〒036-0389 黒石

市境松一丁目1番地1、
同協議会 ☎52-9600

制服おわたし会を開催

市社会福祉協議会は、「制服おわたし会」を次のとおり開催します。

時 1月21日(土) 午後1時30分~午後4時30分

場 スポカライン黒石2階大会議室

問 〒036-0389 黒石
市境松一丁目1番地1、
同協議会 ☎52-9600

有 料 広 告

裁判所の情報公開手続

裁判所の情報公開とは、裁判所の保有する司法行政文書を開示する手続きです。裁判所は、情報公開法の対象外ですが、国民に対する説明責任の観点から、要綱等を定めて手続きを行っています。

詳しくは、裁判所ホームページをごらんになるかお問い合わせください。

HP <https://www.courts.go.jp/about/jouhouko>

[ukai_kojinjouhougo/index.html](https://www.courts.go.jp/about/jouhouko/ukai_kojinjouhougo/index.html)

青森地方裁判所総務課庶務係 ☎017-7221-5421

地域で使える充電

県と青森のちのネットワークは「地域でできるこのころの充電」おたがいさまで支え合う地域をめざして「」を次のとおり開催します。

詳しくは、お問い合わせください。

時 1月31日(火) 午後1時

30分〜3時30分

場 藤崎町文化センター3階

多目的ホール

¥無料

内 県のとりくみ発表、講話、紙芝居、体操、交流会

定 30人

申 1月24日(火)までに藤崎町福祉課に申し込み

問 藤崎町福祉課健康係 ☎8818197

LINEによる若者向けの相談窓口

県は、「LINEによる若者向けの相談窓口」を次のとおり開設します。

学校のことや将来への不安など、どんな内容にも専門の相談員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

秘密は厳守されますので、この機会にご利用ください。下記の二次元コードを読み取りLINE

アカウント「ひとりじゃないよ。@青森県」を友達登録して、ご利用できます。



期 1月6日(金)〜2月2日(木) 午後5〜10時

※受付時間は午後9時30分まで

対 県内の中学生や高校生、大学生などおおむね40歳未満の人

問 県健康福祉部障害福祉課 ☎017-7341930

7

定例労働相談会を開催

県労働委員会は、「定例労働相談会」を次のとおり無料で開催します。

■相談会日程

月	日時
1月	10日(火)、15日(日) 火曜日 13:30~15:30
2月	7日(火)、19日(日) 日曜日 10:00~12:00
3月	7日(火)、19日(日)

場 東奥日報新町ビル4階同労働委員会(青森市)

内 個々の労働者と事業者との間に生じたトラブル(解

雇、賃金引き下げ、長時間労働、パワハラなど)

申 随時受付(予約優先)

問 同委員会事務局 ☎017-73419832

イベント

小・中・学生 ソフトテニス教室を開催

市スポーツ協会は、「小・中学生ソフトテニス教室」を次のとおり無料で開催します。

時 2月5日、12日(いずれも日曜日、午後1〜4時)

場 市スポーツ交流センターアリーナ

対 市内または近隣市町村に在住している小・中学生

定 20人
持運動できる服装、内履き、タオル、飲料水、ラケット(貸し出し可)

申 市スポーツ交流センターに電話かファクシミリで申し込み(1月5日(木)から随時受付)

問 同センター ☎・FAX 5311612

有 料 広 告

転倒骨折予防・認知症予防教室を開催

市は、「転倒骨折予防・認知症予防教室」を次のとおり開催します。

開催日	開催時間	開催場所
1月25日(水)	13:30~15:00	老人福祉センター
2月17日(金)		市西部地区センター
2月22日(水)		老人福祉センター
3月22日(水)		

対市内に在住している65歳以上の人(申込不要)

¥無料

持動きやすい服装、飲み物、タオル

問市地域包括支援センター(内線532)

1月の乳幼児健診(スポカルイン黒石)

対象		日時
乳児	令和4年9月生	26日(木)
1歳6か月児	令和3年6月生	19日(木)
2歳児	令和2年6月生	18日(水)
3歳児	令和元年6月生	25日(水)

※詳しくは、対象者に個別に通知しています。

問健康推進課母子保健係(内線244・245)

1月の献血(全血)

日時	場所
11日(水) 9:30~10:30	エルナー東北(株)
14:30~16:00	(一財)双仁会 黒石厚生病院

1月の「あすなろの森」

「あすなろの森」は、さまざまな理由で家に引きこもりがちになっている人のための居場所です。

今月は(社福)報徳会の「わ」のカフェ~身近な誰かが身近な誰かを支える~きっかけ作りの場」と共同で開催します。

時①1月12日②1月19日(いずれも木曜日、午後2時~3時30分)

場①松の湯交流館、②上十川公民館

問市社会福祉協議会 ☎52-9600

魅力アップセミナー&交流会を開催

ひろさき広域婚活支援事業実行委員会は、「魅力アップセミナー&交流会」を次のとおり開催します。

時1月15日(日)▽男女別セミナーⅡ午後1時~2時45分▽参加者交流会Ⅱ午後3時~3時30分
場ヒロロ(詳しくは参加者に通知します)
対弘前圏域市町村に在住または住む意思のある結婚を希望する18~59歳の独

身男女

定男女それぞれ10人
¥1000円

内セミナー▽男性Ⅱ服装や髪形、スキンケア、ひげ処理など清潔感をキーワードとした印象アップ方法▽女性Ⅱコーディネートに似合う色やデザインを取り入れるパーソナルカラーや骨格診断

申1月10日(火)正午までに下記の二次元コードから申し込み



魅力アップセミナー&交流会 申し込み

問ひろさき広域出愛サポートセンター ☎35-11123

スキーバッジ・スノーボードテストを開催

黒石スキークラブは、スキーバッジ・スノーボードテストと、テストの受検者を対象に無料レッスンを次のとおり開催します。

詳しくは、お問い合わせください。
時①無料レッスンⅡ1月29日②テストⅡ2月5日(いずれも日曜日、午前10時~正午)受付時間は9

時30分から

場大鱈温泉スキー場(受付場所は雨池スキーセンター12階レストラン)

内▽スキージュニアテスト▽スキー級別テスト▽スノーボードテスト

申①1月26日(木)、②2月3日(金)までに電話またはファクシミリで申し込み

他必要事項Ⅱ氏名、年齢、住所、電話番号、受検級
問同クラブ事務局 ☎52-13442、携帯090-176621791(宇野)

有 料 広 告

おらほの文化財

古くから受け継がれ、地域の歴史を物語る文化財を紹介します。

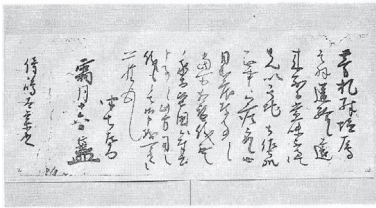
第二十九回

藩祖信英公書状

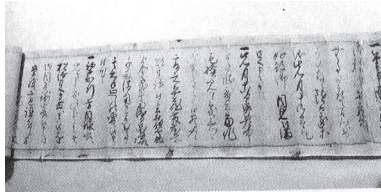
本市には、黒石領初代領主・津軽信英が残した書状が2通あり、それぞれ「藩祖信英公書状」、「藩祖信英公書状(2)」という名称で昭和61(1986)年に市指定有形文化財に指定されています。

「藩祖信英公書状」は、信英が江戸で公務を執っていた時の書状で、年代は正保承応年間(1644～1654)と考えられており、書状の内容は、弘前藩家老・傍嶋太兵衛(信英の妹である松姫の夫)が、当時江戸にいた信英に塩漬(しほ)の雁(が)を一羽送ったことに対するお礼状となっています。

「藩祖信英公書状(2)」は、明暦2(1656)年11月21日、弘前藩4代藩主・津軽信政の後見人として江戸に住んでいた信英が、弘前藩家老・津軽百助に宛てた親書で、信政が4代將軍・徳川家綱との謁見を済ませたことや賄金三千両の借用のことなど政務に関する



藩祖信英公書状



藩祖信英公書状(2)

この書状からは、信政の後見人として信英が大変気を遣って政務を行っていたことがうかがえます。それぞれの書状は明治12(1879)年、黒石藩家老・境形右衛門の子孫が黒石神社に奉納したもので、当時の信英の様子を理解する上で貴重な史料です。

「問合せ」文化スポーツ課(内線622)

黒石市の魅力を国内外に発信している観光大使を紹介します

あずましの里くろいし観光大使

黒石つゆやきそば伝紹会(黒石市)

黒石つゆやきそば伝紹会(鈴木雄会長)は、様々なイベントの飲食ブースで黒石つゆやきそばの店として精力的に出店している団体です。



令和4年に出店したイベントは、「あおもり10市大祭典in三沢」、「2022宮古市産業まつり」など、県内外問わず出店しています。

出店の際は本市の観光パンフレットを持参し、イベント来場者に本市のPRをしている他、鈴木会長が経営するやきそば店では、市外からきたお客さんと会話をしながら本市の見所や文化などを紹介しています。

鈴木会長は「本市の食文化である黒石やきそばを目当てに、たくさんの方が黒石に来てもらえるようこれからも活動していきたい。」と語ってくれました。

◆市は、市の歴史や文化、祭り・豊かな自然、特産品や観光に関する情報を広く国内外に発信し、市の観光振興・イメージアップを図ることを目的に、「あずましの里くろいし観光大使」を委嘱しています。

「問合せ」観光課観光振興係(内線647)

笑顔がいっぱい けんきつズ!

3歳児健診を受診した元気な
子どもたちを掲載しています。



おおだいら
りくとさん



かきはら
りんさん



かさい
りんたろうさん



くどう
あおばさん



くどう
れいらさん



くらしま
うたさん



さいとう
ふうとさん



さいとう
りえなさん



さくらば
かいとさん



さとう
りんさん



しぶたに
えれなさん



じん
かなたさん



すとう
さくらさん



とみや
ゆうとさん



ながい
いっこうさん



はせがわ
ゆいさん



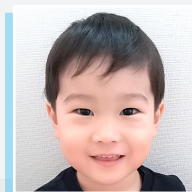
ふくし
うたはさん



ふくし
ゆめさん



まとば
さわさん



わたなべ
けんとうさん



わたなべ
ゆらさん

くろいし景観資産を訪ねて



今回はくろいし景観資産に指定された屯所を紹介します。正面上部の「水」のレリーフと半鐘が特徴の第一消防屯所、現存する望楼付き屯所では最も古い第二消防屯所、当時の洋風建築の雰囲気を醸し出している第三消防屯所、市内の望楼付き屯所では最も新しい板留消防屯所があります。これらの屯所は全て、平成28年8月29日に良好な景観を形成していることから景観資産に指定されました。詳しい情報などは下記の二次元コードからごらんください。

「くろいし景観資産」とは？

市が、黒らしい景観を形成している建築物や自然、眺望、祭りなどを対象に、「くろいし景観資産」として指定したものです。指定資産一覧や、指定までの流れは右記の二次元コードからごらんください。

【問合せ】都市建築課都市計画係（内線571）





黒石市立図書館だより



図書館への善意の寄附

12月2日、黒石烏城ライオンズクラブ（北山豊会長）が市長室を訪れ、図書館建設整備基金へ10万円を寄附しました。

高樋市長は「寄附金は有効に活用させていただきます」とお礼を述べていました。



黒石烏城ライオンズクラブ

あおり冬の読書週間

1月6日（金）～26日（木）は、「あおり冬の読書週間」です。

青森県読書推進運動協議会では、毎年、青森の長い冬の過ごし方として、家族そろって読書する習慣を浸透させるため、本県独自の読書週間を実施しています。

市立図書館では期間中、冬にまつわる図書の展示等を行いますので、ぜひこの機会にお越しください。

1月のおはなし会

▼日時 1月28日（土）午前11時～11時30分

▼場所 市立図書館市民活動室

▼内容 絵本や紙芝居の読み聞かせ

読み聞かせ研修会・情報交換会

市立図書館は、「読み聞かせ研修会・情報交換会」を次のとおり開催します。

普段から読み聞かせをしている人、読み聞かせに興味がある人はぜひご参加ください。

▼日時 ①1月28日②2月4日（どちらも土曜日、午後1時30分～3時）

▼場所 市立図書館市民活動室

▼内容 ①読み聞かせの技術向上について②津軽地区の読み聞かせ活動紹介

▼講師 今井千都子氏（津軽地区読書推進運動連絡会会長）

※講師による講演後、情報交換会を行います。

▼定員 15人

▼申し込み 1月22日（日）までに図書館に申し込み

[問合せ] 黒石市立図書館 ☎・FAX53-2188

六郷小で認知症サポーター養成講座を開催

11月17日、六郷小学校で出前講座を開催しました。同校4年生を対象に行われた同講座は、認知症サポーター養成講座と題して認知症について勉強しました。

市地域包括支援センター職員がふんする「お助け戦隊★包括レンジャー！」と認知症の体験や演習を通して、認知症の症状や接し方について学びました。

同講座を受講した同校4年生の皆さんは、「認知症キッズサポーター」となり、そのあかしとしてオレンジリングをプレゼント。包括レンジャーに仲間入りした、今後の包括オレンジの活躍に期待しています。

[問合せ] 市地域包括支援センター（内線532）



有 料 広 告



黒石ねぶた師の会
藤田 克文さん



今年は、各界で活躍されている人や黒石高校イラスト・漫画研究部の皆さんから届いた年賀状を紹介します。



地域活性化起業人
後藤 孝幸さん

黒石高校イラスト・漫画研究部の皆さん



ゆいHome
間山 和歌子さん



市職員代表
萬谷 綾華さん

編集後記

■昨年4月から市のSNSアカウントの掲載など、一部ページをリニューアルして情報をお届けしてきました。取材等で伺った際は、多くの皆さんにご協力をいただきありがとうございます。本年もより分かりやすい紙面作りを心掛けますので、今後とも「広報くろいし」のご愛読をよろしくお願いいたします。

発行編集 企画財政部広報情報システム課

黒石市役所 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号
TEL 0172-52-2111(代表) FAX 0172-52-6191
HP <http://www.city.kuroishi.aomori.jp>
E-mail kuroishi_hp@city.kuroishi.aomori.jp

▶「広報くろいし」はアプリでも読めます
「マチイロ」で検索(iOS・Android対応)

